

## 放課後等デイサービス自己評価表（事業者向け・保護者向け）実施報告書

令和4年3月4日

社会福祉法人つみき  
つみき第6

放課後等デイサービスガイドラインに基づき、下記のとおり自己評価・保護者からの評価を実施しましたのでご報告いたします。

### 記

#### 1、実施概要

自己評価表：常勤職員2名・非常勤職員3名を対象に実施。

実施日：令和4年3月4日

保護者向け評価表：利用者保護者8名を対象に実施（有効回答5名）

実施期間：令和4年1月20日～2月4日

#### 2、評価方法

自己評価表・保護者向け評価表の結果を参考に、意見の多かった点について職員間で検討。

#### 3、公表方法

ホームページにて公表。広報誌『つみき新聞』にてその旨を告知。

#### 4、主な工夫している点

##### 事業者向け評価表

【設問 4】業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか

◎毎月の部会や日々の話し合いの中で改善点を上げ、こまめなPDCAサイクルで業務改善に努めている。

【設問 10】子供の適応行動状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

◎法人で使用しているアセスメントツールでは重心児のアセスメントに適しておらず、第6の利用児の心身の状態を正しく理解することが出来ないため、独自のアセスメントツールを作り活用している。

【設問 13】平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか

◎高学年に上がるほど平日の活動時間が短くなってしまいうので、短い時間の中で無理のないように活動を設定している。学校休業日や短縮授業で時間にゆとりがある時は平日には行うことが出来ない活動（時間を要するゲーム、調理、外出など）を行うようにしている。

【設問 16】支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか

◎支援終了後は勤務時間の関係で全員で話し合うことが出来ないため、職員間で共有している連絡ノートを活用している。また、特に気になることや必ず全員で共有すべきことはこまめに職員間で話し合っている。

#### 5、主な改善すべき点（改善目標）

##### 事業者向け評価表

【設問 1】利用店員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

◎大型の車椅子が台数が多かったり、体の大きな利用児の多い利用日だと土足スペース・マットのスペースの両方とも狭く感じることもある。コロナウイルスの流行により一人当たりのソーシャルディスタンスを広く取りたいが、難しいことがある。車椅子の停車位置を工夫したり、訓練室内の家具の配置を変えることで少しでも広く使えるようにしていく。

【設問 8】職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか

◎研修の機会はあるが、重心児の支援についてを学べる研修の機会はないため、外部の研修等から勉強できる機会を探り理解を深めていきたい。

【設問 39】非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか  
◎避難訓練・緊急搬送を想定した訓練を実施しているが、一部の利用児のみしか参加できていないため、来年度は回数を増やし全員が参加できることを目指す。

#### 保護者向け評価表

【設問 6】放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

◎コロナウイルスの流行から、感染源を減らすために昨年度から児童館の利用は控えている。現在は公園へ行った際や散歩のときに、偶然居合わせた子供や近所の方とあいさつをしたり少し会話をしたりする程度の交流しかないが、その際には利用児に言葉かけしたり、顔の向きをサポートして、しっかりと顔を見てあいさつや会話ができるようにする。

【設問 15】緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか

◎マニュアルは存在しているが、保護者への周知が足りていないので、マニュアルの存在について随時説明する。

【設問 16】非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか

◎利用児により参加できた訓練内容にムラが出来てしまっている状況なので、来年度は全員が必ず1回は避難訓練及び緊急搬送を想定した訓練に参加できるように活動を組む。また、経管栄養の利用児と食事に制限のない経口摂取の利用児の災害用の食事は備えていたが、制限食の利用児の食事の用意が出来ていなかった。来年度は制限食の利用児の食事もお預かりし、他にも災害時の準備に漏れがないよう物品を確認し注意する。

以上